



各報道機関 様

KJ00660468

2026年6月9日

発信課	経済部産業振興課
担当者	佐藤
連絡先	電話 0166-65-7047
	FAX 0166-65-7048
	E-mail sangyousinkou@city.asahikawa.lg.jp

分類	イベント・行事 <input checked="" type="checkbox"/> 募集 <input type="checkbox"/> 契約・入札 <input type="checkbox"/> 会議・説明会 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>
日程	令和8年6月18日 18時00分 ~ 令和8年6月18日 20時00分
発表項目 (行事名)	【あさひかわデザインウィークイベント】デザイン都市あさひかわ THE TALK なぜ人は「その場所」に行きたくなるのか？
概要 (趣旨・日時・場所・内容等を記入すること。)	<p>あさひかわデザインウィークでは、アッシュアトリウムを舞台に、地域・観光・産業・学生の挑戦など多彩なテーマを、デザインというフィルターを通して、旭川の魅力やこれからの考えていくトークイベントを開催しています。心が動いた言葉や小さな気づきを、自分へのメッセージとして持ち帰り、「これから、やってみよう」と思える場を目指します。</p> <p>デザイン都市あさひかわ THE TALK なぜ人は「その場所」に行きたくなるのか？ — メディアとデザインがつくる“また行きたくなるまち” — (主催 あさひかわ創造都市推進協議会)</p> <p>【スピーカー】山村 高淑 Takayoshi Yamamura (北海道大学観光学高等研究センター センター長・教授)</p> <p>【トーク内容】 本講演では、アニメや映像、SNSなどのメディアが生み出す「行きたい理由」と、それを現地での体験へと変える「デザインの力」に着目し、都市や地域がどのように魅力を生み出しているのかを考えます。 【開催日時】令和8年6月18日(木) 18:00-20:00 【会場】アッシュアトリウム 【定員等】定員 100名(参加無料) 申込 事前申込制。 参加をご希望の方は、下記URLよりお申し込みください。 https://logoform.jp/form/iLZf/1584052</p>
添付資料	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
報道(取材)に当たってのお願い	事前申込制となっておりますので、開催前に参加申込受付中の趣旨で報道願います。
備考	

なぜ人は「その場所」に 行きたくなるのか？

メディアとデザインがつくる“また行きたくなるまち”

speaker

山村 高淑 氏

北海道大学観光学高等研究センター センター長・教授

北海道大学農学部卒業後、民間企業勤務や北京大学留学を経て、2002年に東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。博士(工学)。京都嵯峨芸術大学専任講師・助教授、北海道大学観光学高等研究センター准教授を経て現職。2019年より同センター長を務める。専門は「コンテンツツーリズム」「ヘリテージツーリズム」。アニメやマンガなどメディアコンテンツと観光・地域振興の関係について、国際比較や地域連携による実践研究を行う。観光庁関連委員会座長なども歴任。著書に『世界遺産と地域振興』『アニメ・マンガで地域振興』『コンテンツツーリズム』など。



日時 | 6月18日(木) 18:00 ~ 20:00

定員 | 100名

申込 | 右記二次元コードよりお申込ください

無料



会場：アッシュアトリウム(1条通7丁目)